磐城日日

發行所
磐城日日新聞社
福島縣小名浜町潜廻51
電話代表387番
振替仙台31,355番
編集兼発行人 長瀬芳郎

27年度に小名浜内港整備
大竹知事の腹決る
二千三百万円を縣が立替

只見川特定地域審議會その他の重要用件をひっさげて上京中の大竹知事は八島民生部長らを帯同して廿三日午後〇時一分平驛着急行にて來平直ちに小名浜に至り浜田港務所長、渡邊運輸省工事々務所長、長瀬助役らの案内で港灣施設状況を視察、地區漁業協同組合会議室に於て町並びに町会議員漁業関係者と懇談の後日本水素小名浜工場、専賣公社製鹽工場をみて小滝旅館に一泊した大竹知事は小名浜港の今後の施設計画等につき次のように語った

小名浜問題については二十二日小野縣會議員水野町長らとともに港灣局長に面会して内港の整備を二十七年度に於いて完成するよう陳情した、この整備に要する費用は五千五百萬圓、現在の政府予算は三千二百万円であり残りの二千三百万圓を縣が明年の予算を見返りとして立替え内港の整備を完了するよう自分としては考えている

特に只見川電源開發が本格的に緒につけば使用港灣は小名浜港をおいて他に考えられないので此の際需要方面の常磐炭礦、日本水素、磐城セメント、呉羽化学等の大工場が中心となって小名浜港修築促進同盟を結成して早期完成の促進を圖りたいと思い縣が音頭をとって近く關係者に集ってもらい協議し政府を鞭撻して實現を圖りたい

現在の三千屯級船舶の横付けから六千屯乃至一萬屯級の横付けは今後に残された問題であり、さしあたって内港の整備により小名浜港がどの程度の機能を発揮出來るかをみて考えたいと思う

今日のメモ

大雪の日
二・二六事件起る（昭和十一年）
ユーゴー生る（一八〇二年）

保養荘の委員會
理事長は田子健吉氏

石城郡三阪村上三阪芝山の海拔一千八百米の高原地帯に建設される勤労者の憩の家保養荘設立準備委員会は二十二日開催され社團法人として發足することに決家理事長に田子健吉氏を互選したこの保養荘は總工費二千萬円にて建物は二百坪の宿舍、事務所、倉庫五十坪、浴場設備三〇坪、レクリエーション設備としてマージャン、ピンポン將棋、スキー用具、スケート用具、野球、庭球用具その他放送設備を完備するものであり大野球場及び庭球場の建設も計画している、なお役員は次の通り

理事長＝田子健吉

理事＝林田滿（常磐）伊藤文健（古河好間）鈴木本一（大日本）戸部光識（戸部）遠藤章（小田）斎藤藤雄（常磐勞組）佐々木淳（古河）小林峯一（大日本）菅野清五郎（小田）田畑金光（日鉱常運）大河原一次（炭勞）岩川與助（東炭協）小島良利（東炭鑛）田子慶三郎（地主）本田榮（縣会代表）鎌田直右ヱ門（〃）吾妻貞員（地元）吾妻一郎（地元）

選挙の粛正を叫び……デンデン虫旅行……
能代市の菊池さん

移動住宅のリヤカーを引き選擧粛正と治山治水植林運動を呼びかけながら全國を行脚しているデンデン虫旅行の一家が二十三日朝ヒョッコリ小名浜に現われて濱の人々の話題となっている

秋田縣能代市材木町水産加工株式会社重役の菊池敬治（五三）氏の一家で奥さんのツヤ子（三八）さんとお嬢さんの昭子（一三）ちゃんの三人旅である

行脚の目的は昭和二十四年二月二十日能代市の大火に際して寄せられた全國の人々の厚意に能代市民を代表して感謝のお禮廻りと選擧粛正と植林思想の啓蒙とのことである

大火のあった年の八月一日熱暑の中を第一次旅行として菊地氏は單身でリヤカーを引き乍ら奥羽街道を東京に出て九ヶ月を費して東京の隅々まで歩いたが最初の出發のとき近親や友人は無茶なことは止せと氣違い扱いで引き止めたそうだが第一次計画を美事やり遂げたときは今更に驚いたもので昨年の十一月十五日第二次旅行として全國行脚に出発したのであったが今度は誰も止める者がなく市民はこぞって菊池氏の壮途を祝し盛大な見送りの裡に勇躍出発したのであった

奥さんとお嬢ちゃんの切望によって同伴したのが今回の旅行である

コースは大館、湯瀬、盛岡、仙台、水戸、千葉、東京を通過して静岡、名古屋、大阪、神戸まで行き四國、九州を經て裏日本に出て金澤、敦賀、富山、新潟、山形を經て能代市に歸る予定だそうである

その期間は一年半とみている由で今度小名浜に来たのはコース外であるが福島縣一の要港を素通りは残念と特に立寄ったのだそうである

二十二日夜は平〜湯本を經て玉川農協前で一泊、二十三日夜は隼人公営住宅前廣場に落着いて久しぶりに新鮮な魚に舌鼓をうって二十四日は休養をとり、昨日は江名に出、今日の午前は小名浜町各所で街頭講演をなし午後勿來に向って出發する

一疊半位の狹い移動式小屋に一家三人が自炊、就寝を兼ね七輪、寝具、講演用擴聲器など必要の最小世帯道具がぎっしりと積んである

菊池氏一家が突然本社を訪れて躍進小名濱を賞讃すると共に左の如き信念を語り小名浜町の人々に感謝しつつ次のコースに向って出發する

「東京以北、鹽釜に至る間には港らしい港もなく立地條件は滿点、環境その他凡ゆる点からみて小名浜は要港として發展は絶對的なもので近い將来は平市をしのぐと信じます、こうした惠まれた町の發展には所謂他國人である東京人であろうと、秋田人であろうとその土地の美点や長所を大いに生かすべく協力すべきです、ひいては日本の發展となるのですから

ただ惜しまれるのは私が全國を歩いてみて福島縣特にこの地方の悪路には驚きましたがいずれよくなることでしょう、上京した際は一應この實情を中央部の人に話したいと思います

縣界が道路の甚しい差異で一目瞭然と判るのも体驗から得たもので、縣界線の道路の良悪が定規で計ったようにハッキリと現われていることはなんとなく官僚的な感じがして嫌なものです

この道路の問題ばかりでなく各方面で政府に対して陳情なるものをしきりに繰り返しているが、陳情という言葉や事實が在る限り官吏の汚職事件は絶えないでしょう

爲[illegible]ねばならぬとは當然の權利として當るべきで陳情という字句も事實も世の中から追放すべきです」

小名浜町定例議會
二十八日午前九時より

小名浜町二月定例議会は來る二十八日午前九時より小名濱地區警察署会議室に於て行われるが議題の主なるもの

一、專決處分につき承認を求める件
一、小名浜町立学校施設使用に関する條例改正の件
一、建物賣却の件

登記所の落成式
高木代議士ら臨席

小名濱町大字岡小名京塚一の二に一月三十日新築落成した福島地方法務局小名浜出張所（登記所）の竣工落成式は二十四日午後一時より新廳舍に於て百名の臨席により盛大に行われたが、小野局長の挨拶、擔當技師工事報告について施工者野口繁氏に對する感謝状並に記念品の贈呈あり、同所建築協贊會長水野小名浜町長及び長瀬助役、金澤議員の協力者管内各町村に對する感謝状の贈呈あり來賓祝辞には當時法務次官として同所建築に当った高木松吉代議士を始め小野縣議その他で、國分所長の謝辞があり終って一中岡書室に於ける水野協贊會長招待の祝宴あって午後三時閉會した

内郷町の總務委員會

内郷町では本二十六日午前九時より町役場會議室に於て總務委員會を開き町議会に提出する議案について協議をなし、午後一時より議會運營連絡委員会を開く

電力危機到來！

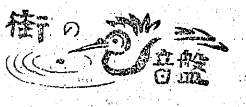
本格的寒さと同時に發電力は日毎に減少初夜ピーク時（夕食時）の緊急停電寸前にあります町民皆様の一段の節電御協力を御願い致します

一、晝間は動力だけ御使用、無用の電灯は消して下さい
一、午後五時三十分からは動力の使用は止めて電灯だけにして下さい
一、不必要な電灯は手まめに消して下さい

二月二十五日

小名浜町役場
小名浜町節電協力會
東北電力小名浜營業所

街の音



一生（一升）のご縁（五円）つなぎの名で一升マスに五圓硬銅貨一杯を詰めお客さまに枚數及金額当ての懸賞をウインドに飾り話題の中心となっていた平市及小名浜町の兩藤越デパートの該懸賞の投票は二十五日で〆切ったが應募者は數千にのぼっているが昨二十六日午前十時小名浜藤越では磐城日日新聞社の立会のもとに内容計算を行ったところ何んと二千四百十二枚あり金額は一萬二千六十圓であった、應募の票數は山積されてありその内には最多三万枚（十五万圓）というのや最少たった三百六十五枚（千八百二十五円）というものあり、中にはご丁寧に頭をひねりフジヨシに因み二、四五四枚と考えた御仁もあるが正午現在で判明したのでは惜しくも一枚違いというのが一票あり、二枚違いが三、四票あった

目下正解票の拾出に大童であるが平、小名浜共發表は三月一日となっておりこの分だと正解者もかなりあるだろうと豫想されて居る

天氣予報 26

（本日）北東の風大体は曇ですが時々小雪がチラツキましょう（海上）多少時化氣味となりましょう

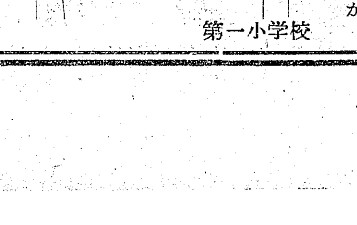
魚菜市況 25

【小名浜中央青果市場】大根一六〜三〇▽ねぎ二〇〜四〇▽さつま三〇〜四五▽はうれん草九五〜一一〇▽馬鈴薯六七〜六八▽油菜二〇▽へらな一五〜一七▽人蔘三五〜四〇▽ごぼう八〇▽切いも一五〇〜一八〇▽卵八、八〇〜九、一〇

【小名浜魚市場】たこ九〇▽はも二五〇▽ぎす一一〇▽黄松三六五

求む下宿人
場所＝閑静＝第一中學校近傍
身元確実なる方若干名
当方＝素人＝家族的待遇
御希望の方は弊社宛申込まれたし

特賣のお知らせ
過般小名浜町竹町三〇番地に建築用材店を開業以来皆様の御引立を蒙って居りますが
今回ベニヤ板を一枚百九十円にて
特價販賣致します
天井板、銘木等も豊富に取揃えてありますから多少に拘らず御用命の程お願い致します
銘木材
秋田杉
天井板
ベニヤ板
ラワン材
床材一式
昭和二十七年二月



目澤銘木店
小名浜町竹町三〇

昔なつかし吸出膏!!
オデキちゃん オバアちゃんも皆知っている
オデキ、瘍、化膿している處なら切らずに癒る吸出膏!!
自信をもっておすゝめ出来るテイジロ膏が出来ました

サイトウ薬局
小名浜町松之中 電話374番

新聞擴張員 配達員募集
年令を問わず 來社の事
小名浜町潜廻五一
磐城日日新聞社
業務部
電話三八七番

磐城日日　昭和27年(1952年)2月26日(火曜日)　【第472号】
新聞定價一ヵ月60円　一部賣3円(月曜休刊)
第三種郵便物認可

五日制の長所は活かし
原則的には六日制
新学期より實施決定

縣教育委員会は週五日制の最後的態度を決定するため赤津委員長以下七委員に小野教育長、各課長出席のもとに二十三日臨時委員会を開催、小野教育長より従來実施して來た週五日制授業を原則的に六日制に改止する事務局案の説明あり、この變更案について各委員より六日制授業と完全授業並びに運営方法等について説明を求むるところあり活潑な質疑應答が交された結果事務局案を一部修止して來る四月の新学期より小中高ともに六日制授業を實施することになつた、また課程別、地域的、季節的、特殊性その他を考慮して教育上の効果をあげ得ると考えれば学校はあらかじめ年間教育計画を教育廳に屆出れば五日制を継續出來ることも決定した

これで昭和二十四年以来実施して來た週五日制も三年にして原則的には廢止されることになつたわけでその切替え措置については縣教育委員会事務局が各學校に對して次のような注意を發した

▼六日制に計畫された授業は完全に實施するよう努力する

▼教師の研修会合のため一週一日(土曜日以外)は授業を午前中だけにする

▼完全授業実施のため從來の會合行事はつとめて調整統合する

▼レクリエーション的色彩の多い学校行事は出來るだけ放課後、日曜祭日などに計畫する

▼家庭社会に對して学校教育に協力を求めるよう工夫する

中ノ作水難救護會役員

江名町中ノ作水難救護会ではこの程總會を開き次の通り役員を決定した

会長…吉田義、副会長…高橋源太郎、澤萬司、總務部長…吉田代、庶務部長…丹幸雄、救護長…加藤孝作、副救護長…小松福次、吉田儀平

會長小野義一氏
交安協會小名濱支部発足

福島縣交通安全協会小名浜地區支部会議は去る二十三日午後一時より小名浜地區署會議室に於て関係者約六十名参集のもとに開催、鈴木小名浜地區署長の挨拶後会則の審議をなし満場一致にて可決した、次いで予算審議に入り昭和二十七年度の予算十三万七千九百圓では支部の運營上余り少な過ぎないかと提言あり協議の結果十七万七千九百円に増額することに決定した、昭和二十七年度事業の内容としては自動車檢査場を小名浜高等學校東北隅の縣所有地に予算六十萬円をもつて設置することを決定して縣に折衝することになつた

なお役員は次の通り決定

支部長＝小野義一、副支部長＝坂本菊治、菅原勳、常任理事＝渡邊善正、理事＝佐藤政治、江尻三睦郎、志賀春男、山田榮治、馬上喜一、長瀬長壽、瀧澤松儀、馬上達三、大野春吉、吉田基、宮下茂、(以上小名浜町)鈴木匱、中田武男、高岡友一、吉田収平、吉田光男、四井直恵(以上江名町)小林重三、吉田義夫(以上泉村)大峯敏太郎、鈴木治郎平、鈴木庸芳(以上豊間町)佐原久治(鹿島村)

顧問＝小名地區警察署長鈴木龍之助、小名浜町長水野政次郎、江名町長中田祐一郎、豊間町長四家健雄、泉村長三瓶奎三郎、鹿島村長八代義定、小名浜消防署長御代龜太郎、江名消防團長志賀要平、江名消防団長佐藤鶴松、豊間消防團長志賀重右ヱ門、泉消防團長上遠野浩、鹿島消防團長新妻一郎、日本水素社長莊野精二郎、小名濱臨港鐵道社長浦田文治郎

入（婿婿）組合を祝す

潮會委員長　菊田敏

古來、日本家族制度では婿殿と奉られるのは貰つた當座だけのことで舅姑には勿論のこと連れ添う女房にも尻に敷かれるのが入婿の運命づけられた地位であつた、自他共にこれを異としないところに実は人權的大きな矛盾があつたのでありますが今日なお思想的にその遺風が溫存されていることは誠に悲慘な滑稽な事と云わざるを得ません

今や滔々たる民主々義の時流に乘つて古めかしい家族制度の殘滓を蹴散らすべく玆に全國に比類なき入婿組合の結成をみたことは他事とは云え欣懷これに過ぎるものはありません

素よりこうした結成はあくまで正しい一つの精神的目標をもつべきであつて單なる日頃の鬱さ晴らしといつた安易な然も低級なお座なり計畫であつてはならない筈であります

幸にして當組合の目的が婿殿の社会的、家庭的地位向上という高遠な理想に在るところに惚れ込んで双手を擧げて設立を祝福申上げる次第であります、何卒寛大な態度でこの苦言を受け入れられて將來は全國的な結合を闘る氣概を以つて育成強化に努められる樣切望する次第であります

臨港鐵道の時刻變更

小名浜臨港鉄道では常磐線旅客列車の發車時刻一部変更に伴い三月一日まで同社線接續列車を次のとおり変更している

泉發十一時二十三分、小名濱着十一時三十八分

小名濱局のサービス
磐城座で映畫の夕

小名濱郵便局では貯金預金者並びに簡易保険加入者に對して日頃の協力にむくいるべく本廿六日より磐城座に於いて馬喰一代、落日の決闘の二本立豪華上映を機會に館主小野直千賀氏の義侠的應援を得て入場料百円のところ八十円に割引することになり割引券を隣組を通じて配布している、この馬喰一代は大映がほこる本年度最高の映画でありベニス國際映画祭に大賞に輝く「羅生門」の三船、京、志村のコンビになるもので雄渾無比の父性愛人間愛の極致とも云うべき感動巨編で必見すべき映画である

なお郵便局では窓口に於いても割引券を贈呈しているに利用されるよう望んでいる

改装の「曙丸」歸港
小名浜保安部の配屬船

巡視船「もがみ」北上任務に伴い新に小名浜海上保安部に配屬となつた巡視船あさちどり(三〇〇トン)は既報の如く昨年十一月就航間もなく改装のため鹽釜港東北ドックに於て鋭意改造中であつたが途中名も「曙丸」と改稱されいよいよ改装成り本二十六日午後四時生れ變つた新しい姿を小名浜港に見せるが海事多端の折柄各方面から大いに期待されている

光和丸碇泊中錨盜まる

東京都中央區前堀町三丁目五番地光和海運株式会社所屬貨物船光和丸が二十四日小名浜港に碇泊中午前三時頃船尾錨及び附屬ロープ(八貫目)を切斷の上盜まれたと二十五日小名浜地區署に船長阿部勝雄さんが屆出た

偽刑事部長の身柄送檢

既報　二十二日泉村に於て警視廳捜査第一課刑事部長と稱し官名詐稱並に詐欺容疑で小名浜地區署に檢擧された東京都板橋区大谷町一〇九八番地齋藤敏行(二九)は取調の結果去る十七日午後十一時頃植田町字金畑二八小澤榮太郎＝代議士小澤專七郎氏甥＝さん方に至り「自分は千葉縣市川市警察署の齋藤刑事部長であるが捜査のため三名で來たが旅費が足りないから」と稱し現金一萬円煙草〃光〃四十個(千二百円)及び靴下一足(代價百円)及び酒肴約五百円を提供せしめたことも発覺し二十五日身柄送檢となつた

礦員に注ぐ
情けの手術

植田町　前田醫院

醫は仁術と云われ醫師を國手と讃えているが醫師だつて食つて行かねばならぬ人間である以上感情に變りはない、現ナマの客と小面倒な手續をする健康保険でかゝる勞務者とでは治療の上に多少なりの相違があるなどの風評を耳にせぬでもないがかと云つてこれも致方のないことと思われる玆に醫師と患者との間に咲いた美談を紹介して物質万能の社会への警鐘として送る

× ×

山田村大昭炭礦第一坑に勤務する佐藤庄一(三二)さんは昨年の暮より「胃潰瘍」を患い二、三の醫師に診療を受けたが思わしくないので炭礦の診療所の幸島醫師の診斷を乞うたところ、石炭不足の折柄優良礦員が長期欠勤する事は國家としても大きな損失であり、一日も早く快癒させる手段として手術による外はないと植田町の前田醫院に入院を勸めた前田醫院には若冠二十九歳で学位をもつ前田春雄氏があり、氏は内臓外科に特に優れた手腕をもつている

佐藤さんは一月の十五日幸島醫師と同道にて入院直ちに前田醫師の執刀により手術を施したところ經過頗る良好で一週間たらずで退院する事が出來今は全く健康体に復し作業に就く事が出來た

然も入院中前田醫師夫妻を始め看護婦の懇切な取扱方には慈母も及ばないものがあり、退院に当つては祝膳を造り醫院擧げて祝つてくれた「無一文の私はどうしてとの御恩返しをしたらよいか」と佐藤さんは涙ながらに感謝の意を表していたという

前田醫院は植川町本町にあり、病院の設備の良い点では早くより地方に知られていたが舊臘千葉醫大にて研究中であつた令息の春雄氏が歸宅されて患者の診察に當るにつき醫院の改造をなしたが診察室、手術室の探光設備と病室の整備には特に意をそゝいでいることが窺われる

…○…

…○…

見習工募集!!
学歴中卒以上の男女
希望者は履歴書持参の事　年令18才以上
委細面談
小名浜町渚廻五二
長瀬印刷株式会社

印刷は小名浜の長瀬

開業お知らせ
この度喫茶店『ひふみ』を増築致しまして商人宿を開業しました
是非御利用の程を御願申上げます
小名浜町
金星座隣
ひふみ旅館
電話五四一番

晝間部・夜間部
生徒募集
長瀬洋裁研究所
小名濱町本町三六

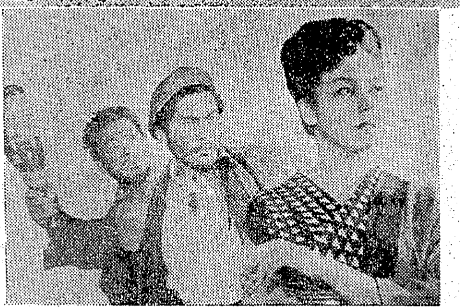
輪界の王座
富士自轉車
ニセモノにご注意

落日の辻に今ひとたびの逢瀬を賭けてヴアージニア男が挑む決闘！　一生に一度の戀も捨て、唯一人の親友も射たねばならぬ西部オキテ！
配役――ジョエル・マツクリー、ブライアン・ドンレヴイ　バーバラ・ブリントン

馬喰一代

このぼんくらめ！　女のあたいから言えるかい！　畜生！　どうせあたいはしつこいよ、死ぬまで想っていてやるからさ！　鐵火肌京マチ子にかみつかれた「北海の虎」三船敏郎

キャスト
三船敏郎・伊庭輝夫
市川春代・星光
京マチ子・杉狂児

26日――29日
磐城座